

留学報告書

記入日: 2017年9月9日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley

留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月21日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:八月半ば～十二月半ば 2学期:一月上旬～五月上旬 3学期:五月半ば～八月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約4万人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	5,200	円	
宿舍費	4,500	円	
食費	1,000	円	
図書費	200	円	
学用品費	30	円	
教養娯楽費	1,000	円	
被服費	0	円	
医療費	0	円	
保険費		50,630円	形態:明大サポートで加入
渡航旅費		158,900円	
雑費	30	円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	11,960	209,530円	

渡航関連

渡航経路:成田から台湾(台湾桃園国際空港)を経由してサンフランシスコ国際空港へ

渡航費用

チケットの種類 エコノミークラス

往路 _____

復路 _____

合計 _____ ¥158,900(往路・復路セットでした)

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎(International House)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数一人)

3)住居を探した方法:
先輩方から聞いた。
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
明治からの生徒も多く、日本人同士の交流も比較的多かったが、他国からの留学生との交流の機会も多く持てた。resident assistants の方々がとても親切で、良い雰囲気だと感じた。24 時間開放されている図書館や各フロアにあるラウンジで夜間も勉強できたのはよかった。ダブルルームだったため、就寝・起床時にはかなり気を遣ったが、会話を楽しむことができたので、良い経験になったと思う。
現地情報
1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
留学先の友人、日本の友人、両親。 相談窓口はあった。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
たびレジ、インターネットなどで収集した。特に犯罪には巻き込まれなかった。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮内ではほとんどの場所で wifi が利用できた。ほとんどの校舎や街にあるカフェでも wifi に接続できた。外で連絡を取りたい時やサンフランシスコに出かける時などは不便だった。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
主にクレジットカードを使用していたが、現金も多少両替して持参した。クレジットカードは念のため二枚持っていて、(ほぼ使用しなかったが)デビットカードも作った。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
ほとんどのものは現地のスーパーや近くのダイソーなどで調達できた。日本からのお土産があったらよかったと思った。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
渡航前にクレジットカードで支払った。
卒業後の進路について
1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
(未定です。)
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
志望業界は未定です。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
詳しくは就職先の希望を決められていませんが、留学先で出会った様々な人との会話を通じて、自分が本当にやりたいことを仕事にしたいと思うようになりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	HAAS School of Business
履修期間	2017年7月3日~2017年8月11日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	David Robinson
授業内容	マーケティングについて幅広く学ぶ。理論だけでなくケーススタディやグループワークも多く、実践的に学べる。
試験・課題など	リーディングの課題が多い。試験は、ほぼ授業で扱った部分から出題される。すべてマーク式だが、中間試験に比べて期末試験で難易度が急に上がった印象を受けた。
感想を自由記入	この授業では、授業中の発言がかなり重視される。先生は厳しめだがオフィスアワーではとても丁寧に質問に答えてくれる。グループで、ある企業の海外展開の戦略を考えてプレゼンテーションを作ったことが特にためになったと感じた。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Negotiation and Conflict Resolution	交渉と紛争解決
科目設置学部・研究科	HAAS School of Business
履修期間	2017年5月22日~2017年6月30日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Cort Worthington
授業内容	ペアワークやグループワークを中心に、交渉を実践的に学んでいく。実践練習では、ケースを読み、自分がその中のある人物になりきって、時間内にいかに自分にとって、そして両者にとっていい結果に持っていけるか、というように進められる。割合は少ないが、教授による講義形式の説明もある。
試験・課題など	試験は主にリーディングの課題のなかから出題される。課題はリーディング以外にはほぼないが、リーディングの量が膨大であるため、計画的に読み進めておくことが重要になる。
感想を自由記入	交渉についてそれまで学んだことがなく、英語も拙かったため最初のころはペアワークで非常に苦戦した。その時はスピーキング力をもっと身に付けてから行けばよかったと後悔したが、徐々に交渉、スピーキングともに慣れてきて、実践の形で楽しみながら学ぶことができた。教授だけでなくクラスメート同士のつながりも強く、人生で一番楽しいと感じた授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English through Broadway Musicals	ブロードウェイミュージカルを通じた英語学習
科目設置学部・研究科	College writing program
履修期間	2017年7月3日~2017年8月11日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、フィールドワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	David Frasca
授業内容	ブロードウェイミュージカルがどのような過程を経て移り変わって来たのかということ、アメリカでの人種差別、禁酒政策、ベトナム戦争などの社会的背景とともに学んだ。
試験・課題など	試験は、授業中に扱ったことを中心に、リーディングの課題の該当箇所などからも出題された。記述・論述式で量も非常に多かった。課題は、毎週1~2本の指定のミュージカル作品を鑑賞してそれについてのレポートを提出するというものと、テキストのリーディングの二種類があった。
感想を自由記入	初めはミュージカルだけを学ぶ授業だと思っていたが、ミュージカルのことよりもその時代背景について詳しく学ぶことができた。ミュージカルの作風やそこで用いられるダンスの形式などと社会での出来事が非常に密接に関わりあっていることがわかり、非常に興味深く受講できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Language and Culture: Community building, Engagement, and Transformation	アメリカの言語と文化: 共同体の形成、関わり合いとその変遷
科目設置学部・研究科	College writing program
履修期間	2017年7月17日~2017年8月4日
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Clark Michael
授業内容	英語を学習することを主な目的としており、サンフランシスコ周辺やその他の地域の様々なコミュニティについて学んだ。博物館見学やキャンパス内での聞き取り調査なども行った。スピーキングを重視した内容だった。
試験・課題など	試験はなく、最終日にグループで簡単なプレゼンテーションという形で発表をしてクラスのみまとめとしていた。授業外の課題は特になかった。
感想を自由記入	語学学習がメインで期間も短かったため、他の授業と比べると比較的易しいと感じた。クラスメートとの交流を持つ機会が多く、休み時間の雑談なども楽しめた。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学について調べ始める
8月～9月	八月：三週間の短期語学研修プログラムに参加
10月～12月	十二月：明治大学へ出願
2017年 1月～3月	二月：留学先大学へ出願、履修登録 三月：寮の申し込み、VISA の申請
4月～7月	四月：語学試験を受験(参考のため) 五月：sessionA 開始 六月：sessionA の期末試験 七月：sessionD 開始
8月～9月	八月：sessionD の期末試験、帰国
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私が留学しようと決めた一番の理由は、大学を卒業して社会に出る前に、より広い世界を見て多様な価値観を持った人たちとなるべく多く関わりたいと思ったからです。なぜかという、色々な考え方を知ることと比べて少しでも器の大きな人になりたい、自分や日本について客観視できるようになりたい、と考えたからです。また、もともと英語が好きだったため、将来英語を使って何かしたいと考えていたこともあり、英語力を向上させたいということも留学を決めた理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のために準備しておくことの中で一番重要なのは、なるべく高いレベルの語学力を身に付けておくことだと思います。リーディングの課題図書を読んで理解する力、授業中に教授が話していることを聞き取る力、ディスカッションで発言する力、そしてレポートなどで発信する力などが当然のように求められるため、少しでも語学力を上げておくことで留学をより充実したものにできると思います。また、授業によっては早めにシラバスが見れて教材がわかる場合もあるので、その本を授業開始前に読み進めておいたり、学習分野の基礎知識を頭に入れておいたりすると授業を深く理解できると思います。
この留学先を選んだ理由	私が UC Berkeley を留学先に選んだ理由は主に二つあります。まず一つ目は、本校が全世界で、特にビジネスの分野で特に有名だということです。私は明治大学で商学部に所属していることもあり、ビジネスの分野で非常に高いレベルの学生とともに学びたいと考えたからです。二つ目の理由は留学期間です。本プログラムでは留学期間が5～8月だったため、就職活動に余裕をもって取り組めて4年間で明治大学を卒業することもできるという点で留学に踏み切りやすく感じました。また、現地の夏学期に当たるため、各国からの留学生が多いと聞いており、様々な地域の文化に触れたいと考えていたので私にぴったりだと考えました。
大学・学生の雰囲気	現地の学生は全体的に、やるときはやる、という勉強と遊びの切り替えの速さを感じました。リーディングの課題やプレゼンテーションの準備を一緒にしていた時などは、効率的に進められるように工夫していて、時間をかければ良いという考えは一切ないように感じられました。遊ぶ時にも全力で遊んでいました。また、特に授業中などには、積極的だと感じ、ディスカッションも活発でどの授業においても教授と学生のコミュニケーションがしっかりとれていると感じました。
寮の雰囲気	International House では、居住者同士の交流の機会が非常に多く設けられていました。毎週水曜日の夜に行われるコーヒーアワーでは、一時間という限られた時間の中でもたくさんの人と関わることができ、その後も別の日に誘い合わせてカフェに行っておしゃべりできるような友達もできました。週末には日帰り観光などの寮生向けのプログラムも用意されていました。RA (Resident assistants) の学生の方々やスタッフの方々がとても親切に様々な相談に乗ってくれて、安心して暮らすことができました。ラウンジなどで色々な人と一緒に勉強できたのも楽しかったです。
交友関係	初めのころは、日本人で固まってしまっていて他国の留学生とあまりコミュニケーションも取れず友達ができないのではないかと心配していましたが、同じ授業をとっている学生とふとしたきっかけから授業後に一緒にご飯を食べに行くようになり、週末に泊まりで旅行に行ったり帰国後も電話で連絡を取り合うほどの仲になりました。その他にも、グループワークがある授業では、チームメイトとディスカッションやプレゼンテーションの作成などを通じて自然と仲良くなることができ、勉強を教えあったりもしました。
困ったこと、大変だったこと	私が留学中に一番困っていたことは、ルームメイトと就寝時間・起床時間が大幅に異なっていたことです。翌日の予習が終わっていないからもう少し勉強してから寝よう、と思った日は、ルームメイトが寝る時には部屋の外に出て図書館やラウンジに移動したのですが、部屋に帰る時や目覚ましの音でどうしても起こしてしまうことが悩みでした。また、やらなければいけないこと、やりたいことが常に山のようにあったので、時間をうまくやりくりするのが大変でした。
学習内容・勉強について	私の明治大学での専攻はマーケティングだったため、交渉、ミュージカルやアメリカの歴史などの知識は全くと言っていいほどありませんでした。さらに、英語力、特にスピーキングとリスニングの力が他の学生たちよりも劣っていたため講義のスピードについていけなかったり授業中のディスカッションで上手く発言できなかったりすることが続きました。しかし、だんだん慣れてきて、時には周りのクラスメートにも助けをもらい、何とか乗り切ることができたので感謝しています。

課題・試験について	留学期間中は、毎日何かしらの課題に追われていました。とにかくリーディングの量が膨大で、睡魔と闘いながら読み続けるのは辛かったです。しかし、だんだん読むスピードが上がってきて読み方も効率的になってきていると自分でも実感できたので嬉しかったです。試験は授業によって辞書の持ち込みが可能かどうか異なっていたのですが、辞書持ち込み不可の試験では語学力のハンデも感じてしまい、試験そのものもさらに難しく感じてしまいました。
大学外の活動について	大学外の活動としては、勉強以外にどの程度時間を使えるかわからなかったため、特にサークルや学生団体等に属することはしませんでした。授業がない時には、空き時間を見つけて友達と、時には一人で、サンフランシスコやダウンタウンなどの様々なところに足をのびました。一緒に行った友人とだけではなくその行った先々で出会った人たちと会話することの楽しさを知ることができ、一期一会とはこういうことかと実感しました。留学後も、ここで身に着けた積極性を生かして色々な人と関わっていきたいです。
留学を志す人へ	留学をするという決断をするのは簡単ではないかと思いますが、留学するか迷ったら思い切って一步を踏み出してほしいと思います。現地で苦労することは多いですが、それらも含めて全てが良い思い出や経験で、留学したことを後悔することは絶対ないと思います。また、本気でやると決めたら応援したり支えたりしてくれる人はきっと周りにたくさんいます。自分の中にはっきりとした目標を持って全力で取り組めば、得られるものは非常に大きいと思います。頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	睡眠	Marketing	Marketing	Marketing	睡眠	睡眠	睡眠
	自習	Office hour	昼食	Office hour	自由時間	外出	自習
午後	Broadway Musical	休憩	Broadway Musical	休憩	自由時間	外出	自習
	休憩	ESL	休憩	ESL	自由時間	外出	自習
夕刻	自習	自習	自習	自習	自由時間	外出	自習
夜	自習	自習	寮の交流会	自習	自習	自習	自習